

# 放射線科だより



令和5年9月22日  
診療放射線科 畑田 瞬

## 《上腸間膜動脈症候群》

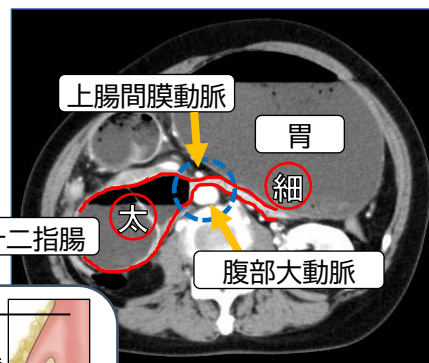
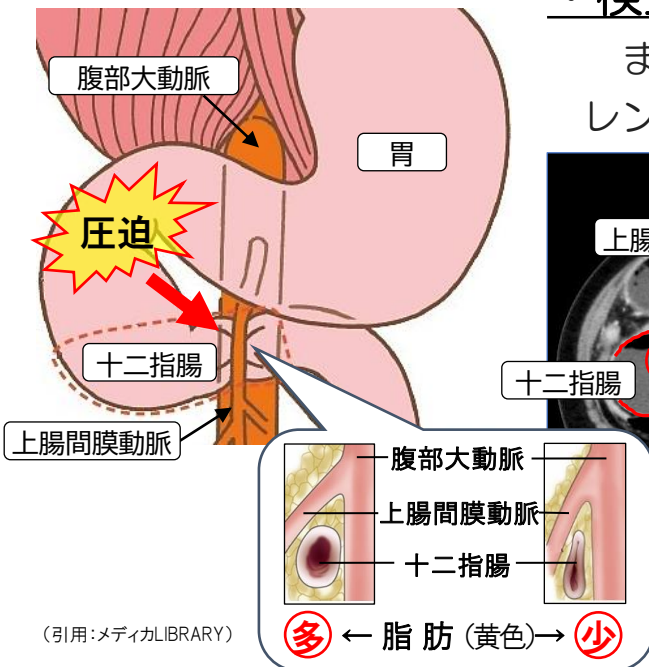
### ・上腸間膜動脈動脈 (じょうちょうかんみやくどうみやく) 症候群とは？

上腸間膜動脈症候群 (以下：SMA症候群) とは、大動脈から分岐する上腸間膜動脈という血管が、胃と腸の間にある十二指腸の一部を圧迫してしまい、通過障害が生じた状態を指します。上腸間膜動脈と十二指腸の間には脂肪が存在しており、両者の間で極度の圧迫が生じないようにクッションとしての役割を果たしています。しかし、この部位の脂肪が少ないと緩衝材としての役割を果たすことができず、上腸間膜動脈症候群を引き起こすと考えられています。

上腸間膜動脈症候群は、**過剰に痩せている女性**や、**ダイエットや病気により急激に痩せた際**に出現します。消化管の通過障害が生じている状態であるため、食後に嘔吐や腹痛の症状が現れます。こうした症状は、仰向けになると増悪する傾向があります。上腸間膜動脈症候群の治療は原因により、食事摂取方法の工夫で改善する場合や、ときに手術が必要となる場合もあります。

### ・検査/診断

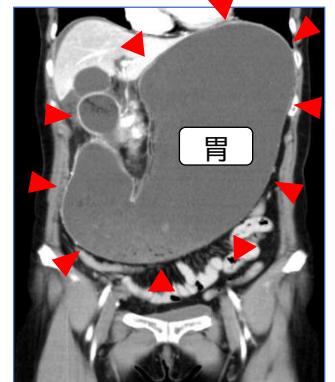
まず医師による診察を行います。その後、レントゲン検査とCT検査で診断を行います。



▲十二指腸(赤線)が、血管に挟まれて、細くなっている(青丸)。

#### CT画像

▼通過障害が起こる事で、食べた物が、腸に流れず、胃が大きく膨らんでいる。



検査に関する疑問、質問などございましたら

お気軽に検査担当技師までお問い合わせください。